

街の元気 ● みんなの元気を応援します

VIVA city

ビバ
*
シティ

公益社団法人 石川県柔道整復師会

2014
August

Vol. 08

特集

柔道

柔道の精神から学び、
広め、伝えていく

志賀町風力発電 福浦発電所

[柔道整復師倫理綱領]

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民俗医学として伝承してきたところであるが、限りない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。

ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力を努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し、技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度を以って接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず、患者の回復に全力を尽くす。

街の元気 ● みんなの元気を応援します

viva city

2014
August

vol.08

C O N T E N T S

1 特集／柔道

第 27 回(公社)石川県柔道整復師会旗争奪少年柔道大会
四支部対抗柔道大会 兼 北信越ブロック大会選手選考会
第 36 回北信越ブロック柔道大会

7 第 36 回北信越学術大会 石川大会

10 喜びの受賞者

12 サポート接骨石川(SSI)ボランティア活動報告

第 28 回猿鬼歩こう走ろう健康大会
第 63 回金沢百万石まつり

新入会員紹介

15 トピックス

柔道

特集

JUDO

～柔道整復術の源に「武道のこころ」～ 柔道の精神から学び、 広め、伝えていく

柔道整復術には柔術の伝統と精神が受け継がれています。柔道整復師会では会員が柔道の素養を積み「精力善用」「自他共栄」の精神を施術に活かすとともに、柔道競技の普及にも努めています。

(公社)石川県柔道整復師会旗争奪少年柔道大会

中能登柔道教室 古豪を破り初優勝

晴天に恵まれた平成 26 年 5 月 11 日 (日)、白山市松任総合運動公園「啓武館」にて第 27 回公益社団法人石川県柔道整復師会旗争奪少年柔道大会が盛大に開催されました。県内の各道場に通り日々稽古に励む小学生たちが、多くのメダリストを輩出するこの大会でしのぎを削りました。



団体優勝と個人優勝の皆さん。おめでとうございます！

オリンピックに出場した金丸雄介選手や松本薫選手をはじめ、すばらしい選手がこの大会から巣立っています。皆さんもこの大先輩を目標に一生懸命がんばってください。日頃の練習の成果を遺憾なく発揮されますように、ご健闘をお祈りします。



開会の挨拶を述べる
木山時雨会長。

今年も県内各地より 24 チーム 350 名の選手が参加。観客席に続々と選手の家が詰め掛けてたちまちいっぱいとなり、会場は選手、実行委員会、審判団を含めた 1200 余名の熱気にあふれました。

開会式では、木山時雨会長の開会挨拶に続いて作野昭白山市長と本会顧問の田中博人県議会議員からお祝いと励ましの言葉が贈られました。選手を代表して輪島柔道教室の三笠仁之介選手が元気良く選手宣誓を行い、熱戦の火蓋が切られました。

注目の団体戦決勝は、古豪の鶴来坂田道場と決勝初進出の中能登柔道教室に。観客席からの大声援の中、両チームの選手達は全力を出して戦



昨年優勝の窪田柔道倶楽部から優勝旗返還。今年は何のチームに…？

輪島柔道教室の三笠選手が選手宣誓。

僕たち選手一同は日ごろの鍛えた力と技と心を十分に発揮し、正々堂々と戦うことを誓います！



負けるわけには
いかない!!



勝利の瞬間。
舞い上がりたい気
持ちを抑えて礼!



息子の緊張をほ
ぐす丸田会員。



い、わずかの差で中能登柔道教室が初の栄冠を
獲得し、会場から大きな拍手を受けました。

試合後、優勝した中能登柔道教室の選手達が

感激のあまり泣き出してしまい、それをなだめ
ていた監督や関係者も、いつしか一緒になって
男泣きしてしまう光景が見られました。

昨年までベスト4にあと一步のところで届か
ず涙を吞んできた中能登柔道教室の選手や監督
にとって、この大会の優勝がどれだけ価値ある
ものかが伝わる感動的なシーンでした。全国の
代表が出場する「日整少年柔道大会」でも中能登
柔道教室のがんばりを応援したいと思います。

続いて、学年別・男女別の個人戦が行われ、
選手達が日頃の練習の成果を發揮した好試合が
続きました。

当大会で活躍し、さらに成長して日本国内だ

優勝おめでとうございます!
選手に 個人優勝の皆さんの
よろこびの声です。
インタビュー!

男子1年の部 生田 恵樹(内灘町少年柔道教室)
優勝できてうれしいです。投げれたことがうれし
かったです。

男子2年の部 辻 陽風(加賀聖武館少年柔道教室)
試合の中では抑え込みが良かったです。

男子3年の部 広瀬 大和(津幡町少年柔道教室)
去年までは2位だったのですごくうれしい。決勝
戦で一本勝ちできたのがうれかった!

男子4年の部 南出 健模(鶴来坂田道場)
優勝できてうれしいです。

男子5年の部 尾嶋 大和(内灘町少年柔道教室)
優勝を目指して頑張りました。優勝できてうれ
しいです。

男子6年の部 橋高 義人(窪田柔道倶楽部)
練習で頑張ってきたことが優勝という結果に表
れて大変うれしいです。「勝つ」ことにこだわり集中
して試合に臨みました。

女子1年の部 堀 紗羅葉(鶴来坂田道場)
大外刈りが決まって良かった。

女子2年の部 河崎 蒼(窪田柔道倶楽部)
自分の技がきれいに決まってすごくうれしい。

女子3年の部 山下 万葉(鶴来坂田道場)
習ったことをちゃんとできて優勝できたことが大
変うれしいです。

女子4年の部 黒澤 友翔(松任柔道スポーツ少年団)
抑え込みで一本とれたことがすごく良かったです。

女子5年の部 辻 なる(加賀聖武館少年柔道教室)
一発で払い腰が決まったことが、すごく良かったです。

女子6年の部 坂田 彩里(鶴来坂田道場)
優勝できてうれしいです。背負い投げが良かった
です。

けでなく世界のトップレベルで活躍する選手が増えています。彼らの活躍は大会関係者にとって大きな励みであり、またこの大会が県下で最大級の少年柔道大会になったのも、柔道を通じて心身の健全な育成と少年柔道の振興に努める趣旨が理解されたからこそ。石川県柔道連盟および白山市柔道協会役員、各柔道教室の指導者や保護者の方々、その他多くの方々の協力と支援に感謝いたします。

当日もこの大会への期待に応えるべく各支部

から50余名の実行委員が早朝より集合し、運営に当たりました。これからも公益社団法人として、事業部を中心にすばらしい大会にしたいと願っています。



参加した350名の選手たち。
夢は大きく、世界へ！

平成25年5月11日 啓武館

【総合成績表】

団体戦		最優秀選手	大塚 遥人			中能登		
優勝	中能登柔道教室	優秀選手	堀川 航	中能登	松井 拓樹	松任		
2位	鶴来坂田道場		松浦優一郎	坂 田	小島 佑斗	輪島		
3位	内灘少年柔道教室		橋高 義人	窪 田	鷲見 陽	鶴来		
3位	窪田柔道倶楽部		今井 真仁	内 灘	安田 琢磨	田中		
個人戦 男子1年生		所属チーム	個人戦 男子2年生		所属チーム	個人戦 男子3年生		所属チーム
優勝	生田 恵樹	内灘	優勝	辻 陽風	加賀	優勝	広瀬 大和	津幡
2位	岡田鳳之介	邑知	2位	中居優太郎	内灘	2位	松川 想良	窪田
3位	村上 壮瑠	岩井塾	3位	坂井 梧人	坂田	3位	松井颯士朗	中能登
3位	林 諒太郎	中能登	3位	野中 海心	坂田	3位	村上 亜塔	岩井塾
個人戦 男子4年生		所属チーム	個人戦 男子5年生		所属チーム	個人戦 男子6年生		所属チーム
優勝	南出 健慎	鶴来	優勝	尾嶋 大和	内灘	優勝	橋高 義人	窪田
2位	堀川 航	中能登	2位	安田 琢磨	田中	2位	松井 拓樹	松任
3位	猪平 光海	雄志館	3位	今井 真仁	内灘	3位	古谷 渉	松任
3位	森田 陽彦	邑知	3位	重野 泰成	雄志館	3位	仲川 裕太	坂田
個人戦 女子1年生		所属チーム	個人戦 女子2年生		所属チーム	個人戦 女子3年生		所属チーム
優勝	堀 紗羅葉	坂田	優勝	河崎 蒼	窪田	優勝	山下 万葉	鶴来
2位	平 彩乃	松任	2位	勘田 姫楓	坂田	2位	新木 美紅	緑
3位	出口 鈴	窪田	3位	中村 美羽	七尾	3位	杉山 夏妃	松任
3位	北村 悠凧	鶴来	3位	大河内結衣	窪田	3位	近岡エヴァ	北陸綜警
個人戦 女子4年生		所属チーム	個人戦 女子5年生		所属チーム	個人戦 女子6年生		所属チーム
優勝	黒澤 友翔	松任	優勝	辻 なる	加賀	優勝	坂田 彩里	坂田
2位	喜多なつみ	坂田	2位	北野 那美	中能登	2位	平田 絢子	坂田
3位	松下ひかる	小松	3位	石野 姫菜	津幡	3位	松任 星来	松任
3位	山出 愛実	邑知	3位	皆田ひかり	坂田	3位	宮本 春菜	松任

柔道

特集

●JUDO●

四支部対抗柔道大会 兼 北信越ブロック大会選手選考会

強豪 金沢南支部が連覇

平成 26 年 4 月 13 日（日）白山市松任総合運動公園「啓武館」にて四支部対抗柔道大会兼北信越ブロック大会選手選考会が開催され、各支部の栄誉をかけた熱き戦いが繰り広げられました。

第1試合 金沢北支部 vs 能登・加賀支部合同

昨年の北信越ブロック及び日整全国大会に出場した小倉選手を中心に優勝を狙う金沢北支部に、昨年のこの大会で会長奨励賞を受賞した角浦選手、百谷選手を擁する能登・加賀支部合同が挑みましたが、北支部が4-1と圧勝。

第2試合 能登・加賀支部合同 vs 金沢南支部

能登・加賀支部合同は第1試合の雪辱をはらすべく果敢に金沢南支部に立ち向かいましたが、前年度の北信越ブロック、日整全国道大会出場メンバー4人を擁する南支部が5-0で圧巻の勝利となりました。

決勝戦 金沢南支部 vs 金沢北支部

強豪・金沢南支部と金沢北支部の決勝戦となりました。北支部が「今年こそは優勝を！」と粘りをみせるものの一歩及ばず、4-0で南支部に軍配があがりました。勝敗数では圧勝でしたが、内容は決勝にふさわしい接戦となりました。



優勝
金沢南支部
準優勝
金沢北支部
3位
加賀・能登支部合同

なお今大会の結果を受けて、畠山太輔会員、田中寿人会員、城寶忠信会員、小倉弘行会員、北浦健司会員が、北信越ブロック柔道大会の代表選手に選考されました。

● 出場選手の皆さん ●

	金沢北支部	金沢南支部	加賀・能登支部合同
先鋒20代	福岡 亮	畠山 太輔	百井 和浩
次鋒30代	山田 祐輔	田中 寿人	角浦 大介 (会長奨励賞)
中堅30代	松永 日和	城寶 忠信	片倉 英介
副将40代	小倉 弘行	丸田 克幸	西 敏男 (会長奨励賞)
大将50代	嶽 与志蔵 (会長奨励賞)	北浦 健司 (会長奨励賞)	百谷 実



出場選手の皆さん。

柔道

特集

●JUDO●

第36回北信越ブロック柔道大会石川大会

地元大会で 驚異の八連覇達成

天下無双

平成26年6月28日(土)、第36回北信越ブロック柔道大会が石川県立武道館で開催され、5年に一度の地元大会を見事な八連覇で飾りました。

午後1時30分、選手入場。観客席を埋める各県の応援団約150人を含む会場の全員で国歌斉唱。続いて阿部松雄北信越ブロック会長の挨拶の後、本会の木山時雨会長が開催県として歓迎の辞を述べました。石川県チーム畠山太輔会員が気迫のこもった選手宣誓を行い、いずれも柔道六段の北浦健司会員、丸田克幸会員による演武「五つの型」が厳粛に執り行われました。

午後2時いよいよ試合開始、西川典孝監督率いる石川県は第一試合福井県戦を2-1、第三試合富山県戦を3-0で制し決勝戦へ駒を進め、新潟県を代表戦で制した長野との決勝となりました。



見事な八連覇を達成した石川県チーム。



選手を代表して畠山太輔会員が宣誓。

【成績】

西部予選リーグ

石川2-1福井

石川3-0富山

決勝戦

石川4-0長野

演武 投げの型



鶴来坂田道場の淵田基矢君(左)と松村拓君。

演武 五つの型



北浦会員
丸田会員



実力者ぞろいの北信越各県の代表選手たち。

石川県対長野県の決勝は8年連続となる因縁の対決。本調子と言える状態ではなかった先鋒・畠山選手が敢闘精神を発揮して引き分けに持ち込むと、次鋒・田中選手が先手、先手の攻めで試合巧者の相手選手に優勢勝ちしました。中堅・城寶選手が力強い安定感のある試合運びで怪力を誇る相手選手に優勢勝ちを収めると、副将・小倉選手は内股、足払い、払い腰と技を連発、気合の入った厳しい攻めに相手はたまたらず膝をつき、優勢勝ちとなりました。大将・北浦選手は一瞬の勝機をつかんで渾身の力で相手を圧倒、見事な「袈裟固め」で一本勝ちを収め八連覇に華を添えました。

なお石川県からは、最優秀選手に田中寿人選手、優秀選手に城寶忠信選手が選ばれ、小倉弘之選手を加えた3名が10月13日(月・祝)に

講道館で行われる日整全国柔道大会の代表選手に選出されました。健闘を祈念するとともに心より称賛の拍手を送ります。

また、今回の大会を成功させるため、58名の大会実行委員が朝から運営に当たりました。大変お疲れ様でした。

石川県
代表選手の
皆さん



先鋒
畠山 太輔 選手
(五段)



次鋒
田中 寿人 選手
(五段)



中堅
城寶 忠信 選手
(五段)



副将
小倉 弘行 選手
(五段)

大将
北浦 健司 選手
(六段)



応援を
ありがとう
ございました



石川県代表監督
西川 典孝

不調の中で達成できた八連覇

皆さんの応援のおかげで優勝できました。誠にありがとうございました。

5月の連休明けから週2回、日常の業務を終えてから道場に集まり、選手が一つになって稽古に励んだ結果が、8年連続優勝に結びついたものと思います。

今年は体調不良や故障者が多く万全とは程遠いコンディションでしたが、各選手の自覚と目に見えない努力、そして長年培った経験で大会当日は見事な試合運びを見せてくれました。また、今年度から採用された新たな国際ルールに沿った試合規定も本県選手に味方してくれたものと思います。それは、しっかり組んで技を掛ける、積極的に攻撃するという柔道の基本に立ち返ったものです。

10月に講道館で開催される日整全国柔道大会には、北信越西部代表として本県の3選手が出場する予定です。会場で、または各施術所にてご声援をいただければと思います。

第36回(公社)日本柔道整復師会北信越学術大会石川大会 700人が金沢に集い、学び、交流

第36回(公社)日本柔道整復師会北信越学術大会石川大会が平成26年6月29日(日)にホテル金沢で開催され、参加者700名以上と満席の会場で公開特別講演会・協賛研究発表・会員研究発表が行われました。



開会式

大会前日の6月28日(土)、開会式が華やかに催されました。オープニングの金沢素囃子が場内を幽玄の世界へと導き、その静寂な雰囲気の中で嶋谷清本会副会長が開会宣言、工藤鉄男公益社団法人日本柔道整復師会会長が主催者挨拶を行いました。その後来賓を代表して谷本正憲県知事(代理)、山野之義市長(代理)、馳浩衆議院議員(代理)、佐々木紀衆議院議員、岡田直樹参議院議員のご祝辞をいただき、最後に本会 木山時雨会長が大会開催にあたり万感の思いを込めて歓迎の挨拶を行いました。

引き続き本会顧問田中博人県議の乾杯のご



日整 工藤会長は挨拶の中で、地域包括ケア等への展望について触れられた。



歓迎の挨拶を行う木山会長。



乾杯は田中県議会議員(中)と全国柔道整復学校協会会長に就任された碓井貞成先生(奥)、工藤会長の3人で。

発声により懇親会へと移り、オーケストラ、太鼓の演奏をバックに親交を温めました。

公開特別講演

金沢発 整形外科医療の最前線

～機能を残して命を助ける～

金沢大学附属病院 整形外科主任教授 土屋 弘行先生

以前は、患部を切断しても余命が1～2年と言われた骨肉腫※1も、現在は8割の患者さんが治るといいます。テレビ等でも紹介された液体窒素処理骨再建術等の驚くべき医療技術を開発した土屋先生は、日本のベストドクターに選ばれている注目のドクターです。講演では金沢大学附属病院で実際に行われ患者さんに希望を与えている最先端医療について、詳しくお話していただきました。

金沢大学附属病院では、液体窒素処理骨再建術をはじめ、いくつかの技術を組み合わせて骨肉腫の治療を行っています。

液体窒素処理骨再建術をひと言でいうと、腫瘍におかされた骨を一度身体から取り出して液体窒素で凍らせて腫瘍細胞を死滅させてから身体に戻すというもの。切除した腫瘍骨を摂氏零下196℃の液体窒素に約20分間つけて腫瘍細胞を死滅させ、その後20℃の室温で15分、

30℃の加温生理食塩水に浸けて15分で凍った骨をとかします。これらの処理を行っても骨の力学的強度は処理前と変わりませんし、身体に戻した処理骨の凍った(死んだ)ガン細胞を体が認識して免疫反応(凍結免疫)が起り、ほかの部位に転移しているガンを撃退することもあるとわかったのです。

そして関節の表面を抗菌金属でできた人工関節に置き換える等の処置をしてから、骨を元の場所に戻し、抗菌金属プレートで固定します。抗菌金属とは、チタン製金属の表面に酸化被膜を形成し、そこに小さな穴を開けてヨードを封入した金属です。ヨードは、細菌の蛋白質合成を阻害することにより非常に高い殺菌能力を発揮する消毒薬ですが、毒性はあまりありません。この抗菌金属の使用が、手術部位の感染症対策に劇的な効果をもたらしました。こういった技術によって、かつては切除するしかなかった症例も発症前と同じように走ったりできるまでに回復が望めるようになりました。

いま、脚光を浴びているのが再生医療*2です。ES細胞やiPS細胞がよくテレビなどで話題になりますが、お腹や太ももの脂肪にある幹細胞(脂肪由来幹細胞)が骨・軟骨・脂肪細胞・筋・神経・肝細胞などいろいろな細胞に限局的に分化・誘導されることが発

金沢発の先端医療技術に驚きの声か。



つちや ひろゆき
土屋 弘行

【プロフィール】

金沢大学大学院医学研究科修了。同大学医学部講師、ウィーン大学留学、金沢大学医学部助教授等を経て、2006年金沢大学医学部附属病院・病院臨床教授整形外科長、2010年金沢大学大学院医学系研究科がん医科学専攻機能再生学講座機能再建学(整形外科学)教授に就任、現在に至る。



見されました。自分の体の中から抽出したものは、基本的に副作用や拒否反応が少なく感染症の心配もないため、再生医療分野でのさまざまな応用が期待、研究されています。

- ※1 10~20歳の若年層に多くみられ、大腿骨、脛骨の膝関節付近に発生する悪性骨腫瘍の中で最も発生数が多い。
- ※2 ケガや病気で失われた組織や臓器を、体の中の細胞の能力を使って元通りの形や動きに再生する医療技術。

土屋先生
より

「脱ロコモ」のための
情報を発信中です!

WHOでは、終生すこやかに身体を動かすことができる社会の実現を目指す運動を提唱しています。これに伴い日本整形外科学会では、運動器疾患からの寝たきりをなくすため『骨折を防いで、脱ロコモ宣言!』を全国に発信中です。

ロコモーション
トレーニング ロコトレはたった2つ!

- ①片足立ちでバランス能力をつける
左右1分間ずつを1日3回
- ②スクワットで下肢筋力をつける
深呼吸をするペースで5~6回を1日3回
転倒しないように必ずつかまるものがある場所で行いましょう。毎日続けて、いつまでも元気な足腰を!

※詳しくは、ロコモティブシンドローム予防啓発公式サイトをご覧ください。

ロコモチャレンジ!
<https://locomo-joa.jp/>



会員研究発表

①「骨折の逆転位の整復」と症例報告

富山県 高崎 光雄会員

強度外力、過度の回旋力作用による逆転位骨折について、経験した6例に整復法を加え報告。

②腋窩神経絞扼性神経障害の出現が疑われた症例

新潟県 中村 あづさ会員

医師のアドバイスのもと、チネル徴候がみられた症例に肩関節脱臼のヒポクラテス法とゼロポジション牽引にて良好な結果を得られた報告がなされた。

③頸肩腕痛の病態と予後

長野県 星野 良和会員

神経学所見により頸肩腕痛の病態を把握。腱反射が有効な検査手段であったことを症例と共に報告。

④静的ストレッチングが及ぼす負の影響について

福井県 吉田 雅哉会員

静的ストレッチングの効果について検証。運動直前のパフォーマンス向上と運動後の疲労回復効果は期待できないと報告した。

⑤女子バスケットボール選手における膝前十字靭帯損傷予防プログラムの導入と効果

石川県 濱 亮輔会員

ACL損傷予防プログラムを導入することで損傷リスクの低減が可能になる。予防プログラムとして行っているトレーニングを動画を用いて説明。



実技発表

柔道整復師の業務におけるストレッチングの活用

福井県 三上 貴広会員・宇野 哲夫会員・田所 崇会員

高齢化社会の中でストレッチングへの理解が必要として、その種類や方法について説明し、今後業務に取り入れていくべきと報告。

協賛発表

三角線維軟骨複合体(TFCC)損傷の発生機序について

北信越柔整専門学校
中村 洋平先生



TFCC損傷とPalmer分類を解説し、尺骨突き上げ症候群と投げ釣り動作負荷について考察を行った。

ポスター発表

①顎関節前方脱臼

～整復までの種々変化法での試み～

石川県 磯松 俊也会員

②腱周囲損傷に対する超音波ドプラーの活用

石川県 森田 一哉会員



出展したパネルの前で。磯松会員(左)と森田会員。

ランチョンセミナー・介護セミナー

草原に架かる虹を追って

～日本柔道整復師会 モンゴルでの記録～

日本柔道整復師会 国際部 田澤 裕二氏・根来 信也氏
2006年より、柔道整復術の普及を目指して行ったモンゴルでの活動を国情とともに紹介した。

介護保険と柔道整復師

～機能訓練指導員として考える～

日整保険部介護対策班 藤田 正一氏・三谷 誉氏
地域包括ケアシステムの取り組みと参入について説明。また、ICF(国際生活機能分類)の評価の仕方と取り入れ方についても解説した。

●詳細については学会誌抄録をご参照ください

喜びの受賞者

石川県知事表彰

柔道整復師会では、柔道整復師として研鑽を積み施術を通して地域医療に貢献してきた会員に対して表彰を行っています。今年は3名の会員に石川県知事表彰が贈られました。

技術で人は癒せない。 人間的な触れ合いと 愛がなければ

村山 雅仁会員

この度、名誉ある県知事表彰を授与され身に余る光栄です。これもひとえに当会発展に寄与された会員一人ひとりのおかげであると感謝しております。

私には、時々手にする愛読書があります。『夜と霧』などヴィクトール・フランクルの著書数冊です。彼は、当時精神分析の巨匠であったフロイトやアドラーとは一線を画す新進気鋭のオーストリアの精神科医でした。彼は、ただユ

ダヤ人であるというだけの理由でナチスに囚われ、過酷な運命に翻弄されます。強制収容所を転々とし悪名高いアウシュヴィツを生き延び、収容所で数知れない死に直面します。同時に極限状態における人間の醜悪さ、そして少数ではあるが人への高貴と慈愛に満ちた姿を見いだします。このことから彼は、後世への忘却してはいけない教訓として、彼独自の叡智とそして人間への理解と共感、心静かな悟りともいえる境地から、ロゴセラピーという魂の癒しを求める精神療法を著します。彼の著書は、形而上学的学問ではなく、生死に関わる極限的体験から生まれた「生きる意味」を問う深遠な人生への問いかけです。彼の言葉のいくつかを紹介します。「人間は近くに、神は遠くに幸福を見る。神の視点は、人間よりも常に遠いところに置かれている

る」
「人生に何かを期待するのは間違っている。人生が、あなたに期待しているのだ」
「苦しみ悩むのが人間なのではない。苦しみ悩むからこそ人間なのだ」
「真の勇気がためられるのは逆境のときではない。幸運なときどれだけ謙虚でいられるかで試される」
「絶望とは、もうすぐ新しい自分と新しい希望が、生ま



県知事表彰を受賞した皆さん(左から木山会長、小林会員、吉野会員、村山会員、谷本知事)。

喜びの受賞者

れてくるという前兆である」

「自分を一面だけで判断したらその通りになる。

だが、人間とは多面的な存在なのだ」

「人生の幸福は、どれだけ快楽を得たかではなく、どれだけ感動を得たかによって決まる」

「人間は悩み苦しむのではない。悩んでいる“自分自身”に苦しむのだ」

「自分を忘れ、仕事や人間に愛を傾ける人。そんな人にはすべてがひとりでにやってくる。成功も楽しみでもある」

「いくら素晴らしい技術があっても人は癒せない。人間的な触れ合いと愛の交流がなければ」

※「ロゴ」=意味「セラピー」=心理療法

愛される「町の接骨院」 をめぎします

吉野 勝男会員

この度、第39回定時総会の席上において、公務多忙の中をご出席いただいた谷本正憲石川県知事より直々に医療功労者表彰をいただいたことに、この上ない感激を覚えました。

私は10年近く医師の指示のもとで治療する理学療法士として病院勤務をしておりましたが、柔道整復師として開業してからは、患者様に対して全責任を負うということの重要性を痛感しながら日々治療してまいりました。それでも30年余り続けてこられたのは、諸先輩先生方や会員先生方のご指導のおかげと改めて深く感謝を申し上げる次第です。

この受賞を励みに、長年両親の介護をしてきた経験を少しでも生かして、地域住民の皆様方から整復業務はもちろんのこと、医療・介護等全般についても気軽に相談していただける、皆様方から愛される「町の接骨院」をめざして、今後も日々研鑽、精進して行く所存でございます。

ありがとうございました。

感謝

小林 明会員

今年度、還暦午年に平成26年度医療功労者として谷本正憲石川県知事より表彰されたことは身に余る光栄と存じ、厚く御礼申し上げる次第です

これからも地域医療に貢献し、斯界の発展のため尽力したいと思います。これからもよろしくお願い申し上げます。

誠にありがとうございました。



3人を代表して謝辞を述べる吉野会員。



サポート接骨石川 (SSI) 活動①

猿鬼歩こう 走ろう健康大会

平成26年5月11日(日)能登町柳田運動公園において第28回猿鬼歩こう走ろう健康大会が開催されました。例年は9月に開催されていますが、本年度から5月に変更になり、共催する(公社)石川県柔道整復師会からは、赤十字奉仕団・サポート接骨石川 (SSI) のスタッフがボランティア活動を行いました。

多彩な参加者たち、 求められるケアもいろいろ

大会当日の午前7時、ボランティア活動に参加する20名がサポートブースのある柳田体育館に集合。スタート前から出場選手が次々に訪れ、ストレッチやテーピング、アイシング等を施し、大会終了までに延べ151名の選手へのサポートを行いました。

ハーフマラソンから3kmの「走ろうの部」、16kmから6kmの「歩こうの部」など多彩なコースからなるこの大会は、自分のペースに合わせてゆったり楽しみながら参加することができるという、ほかとは異なる良さを持つ大会です。ブースへ訪れる選手も、競技性の高いハイレベルなケアを求める方から能登の里山を楽しみながら歩く方



各コースに分かれて、選手たちが次々とスタート。

能登町のゆるキャラ「のっとりん」も応援。

などいろいろ。その選手の参加種目や当日のコンディションに合ったケアを行う必要があり、スタッフは日々の経験を活かしながら真剣な表情で取り組んでいました。

今年は、本会主催の「石川県柔道整復師会旗争奪少年柔道大会」と開催日が重なったため、例年より少ない人数でボランティアに当たりましたが、昨年とほぼ同じ人数の選手をサポートすることができました。また活動の間には、スタッフ同士が施術のポイントを教え合い互いに施術し合うなど、今後のサポート活動に活用できるノウハウを学べる有意義な時間を過ごすことができました。

歩く人から競技として挑む選手まで、求められるケアはさまざま。



能登町「有線テレビ」の取材も入り、ちよつと緊張。



第63回 金沢百万石まつり

第63回金沢百万石まつりが、6月6日(金)から8日(日)にかけて開催され、メイン行事の百万石行列が行われた6月7日(土)に日赤石川県支部が行っているボランティア活動に当会も参加、協力をしました。

■ 百万石行列で救護支援活動 AEDを担いで観客の中を巡回

百万石まつりは、加賀百万石の礎を築いた藩祖・前田利家公の偉業をしのいで毎年開催される、金沢市民をあげての祭りです。今年は加賀藩前田家の慶事を祝う「盆正月」の再現イベントもあり、一層の賑わいをみせました。観光客も含む40万人もの人が集まるこの大イベントを安全に運営するため、毎年多くのボランティアが汗を流しています。

特に利家公の金沢城入城を再現した百万石行列はこのお祭りの最大の呼び物であり、行列が行われる日は日本赤十字社石川



救護所にて。

県支部が救護所を設置して、体調を悪くされた方やケガ人、迷子搜索等の救護活動を実施しています。(公社)石川県柔道整復師会では、金沢北支部を中心に延べ19名の会員がサポート接骨石川(SS I)赤十字奉仕団として活動に参加しました。



各救護所に分かれて活動を行った。

新入会員紹介



平成26年4月1日入会
物應 明
(もつお あきら)

生年月日 昭和40年5月12日
出身校 北信越柔整専門学校
住 所 珠洲市宝立町金峰寺末字30-1
接骨院名 物応接骨院
電 話 0768-84-8088
特技・趣味 陶芸(珠洲焼)、茶道



平成26年4月1日入会
北川 隆之
(きたがわ たかゆき)

生年月日 昭和58年5月22日
出身校 北信越柔整専門学校
住 所 金沢市北安原2-137
接骨院名 やわら接骨院
電 話 076-240-7470
特技・趣味 車、バイク

サポート接骨石川 (SSI) 活動

当日は薄曇りの天候。金沢駅東口で行われたオープニングセレモニーでは、100名を超える太鼓演奏にジメジメした空気も吹っ飛び、見る人の度肝を抜きました。まさに百万石にふさわしい大迫力！ 圧巻の演奏でした。今年には2015年北陸新幹線開業と金沢シティーマラソン開催のPR隊も参加して色を添え、行列の参加人数は約2,500人だったとか。

救護活動は行列区間の沿道の3か所に設置した救護所に駐在する救護所付きスタッフと、行列と一緒に移動する巡回班に分かれて行われました。特にAEDを担いで巡回していた会員は一時たりとも気を緩めず、行列に沿って観客の中を汗だくで歩いていました。歩いた距離は、JR金沢駅東広場前から金沢城公園三の丸広場までの3.5kmの倍！ 午後2時にスタートした行列が終わった後も、踊り流しが終わる午後9時過ぎまで巡回は続きました。



参加した救護ボランティアは、他の奉仕団を含めた総勢130名。

上嶋 洋会員 相撲道八段位の栄を賜る

平成26年5月、本会の金沢北支部・上嶋洋会員が（公財）日本相撲連盟より相撲道八段位を認定されました。これは石川県で3人目という栄誉ある段位です。石川県相撲連盟相談役、金沢市相撲連盟副会長の職にあり、柔道5段の認定も受けている上嶋会員は、71歳の現在も後輩の指導に尽力されています。



上嶋 洋

私は相撲が特別強くも弱くもなかった。しかし、森山小6年の時、学校代表に選ばれなかった悔しさと昭和中期代に市人大大会大変な挫折感を味わい、それを払拭しようと頑張り、国体出場を果たしました。その後相撲を自分の鍛錬と成育の場と信じ、県と市連盟の命を受けて、全国初の相撲スポーツ少年団の結成に奔走しました。選手兼役員として、少年

相撲八段位を認定され

相撲の底辺拡大、普及指導を任ざられて25年間、全国大会にチームを率い、北信越大会を開催、土俵を小学校のほか、幼稚園、神社にも造り、今年、日本相撲連盟から八段位を認定されました。柔道の師から「二兎を追う者は一兎をも得ず」と言われながらも、柔道五段の認定も受けています。これからも健康に気をつけ、相撲の発展と自己改革の修養に努めます。
(金沢市)

地元紙でも掲載された。



平成26年4月22日入会

津田 大資

(つた だいすけ)

生年月日 昭和51年4月9日
 出身校 北信越柔整専門学校
 住 所 金沢市金石本町口32-3
 接骨院名 だいだい接骨院
 電 話 076-201-8056
 特技・趣味 カラオケ



平成26年6月3日入会

力丸 真

(りきまる まこと)

生年月日 昭和50年7月22日
 出身校 北信越柔整専門学校
 住 所 金沢市大豆田本町甲270-1
 接骨院名 りきまる接骨院
 電 話 076-255-2006
 特技・趣味 旅行、モータースポーツ、ゴルフ

トピックス①

IST(石川県スポーツトレーナー連絡協議会)総会開催される



役員改選で会長に選任された北岡克彦先生。

平成26年3月30日(日)、ホテル金沢にて平成26年度IST総会が開催されました。出席者は56名、平成25年度の事業・収支報告(中間)、平成26年度事業計画・予算案、役員の改選について協議が行われました。

総会后、継続認定及び特別講演会を実施。アテネオリンピックに出場し北京オリンピックではウエイトリフティング女子日本代表監督を務めた浅田(旧姓:長谷場)久美氏と夫の浩伸氏から「監督・コーチの視線からトレーナーの必要性について」と題した大変興味のある講演をいただきました。選手のケガに対するフォローアップ等については、いろいろな立場のトレーナーやドクターが情報をネットワークで共有して、連携を密にしたいと話されました。



講師の浅田久美氏。



夫の浩伸氏は現役の選手でもある。



特別講演会のテーマは「監督・コーチの視線からトレーナーの必要性について」。

講演会終了後、馳浩衆議院議員、向田和義県体育協会専務理事を来賓にお迎えして懇親会が開催され、歓談の中で我々の今後の活躍への期待の言葉をいただきました。



顧問 北山 吉明先生



馳 浩衆議院議員

皆様の投稿をお待ちしています。

テーマは自由。日々の雑感や接骨院へのご意見など、なんでも結構です。川柳、短歌、俳句等の作品やイラスト、絵手紙なども大歓迎です。

【送付先】

メールの場合

■ B.sonnix@po3.nsknet.or.jp

広報部 佐藤裕之 宛

※件名に「広報原稿」または「広報写真」と入力ください。

郵送の場合

■ 〒920-0031 金沢市広岡2丁目3-26

石川県柔道整復師会 広報部 佐藤裕之 宛

※封筒に「広報原稿」または「広報写真」と明記ください。

❖残暑お見舞い申し上げます。会報誌viva cityの発刊も8号になりました。今号は取材記事が豊富で濃い内容になっています。今回は特に北信越柔道大会・学会が開催され、改めて広報部員の行動力と編集力に感嘆いたしました。写真担当はデータの管理や編成で、取材班はきめ細かい取材と原稿作成で力を発揮していただきました。改めて感謝いたします。(佐藤 記)



❖過去にお通じが一か月に一度しかない女性を診たことがある。腹部臓器の器質的疾患を疑いながらお腹を触っても便塊に触れる以外は疑わしいものは無い？ 主訴の腰痛は、腰部の所見の消失とともに軽減するもお通じはないまま。元気そうで腰痛と便秘は関係がなかったかもしれないが、食べたものを一か月溜め込むことができる腸とはすごいかも…。(錦川 記)



❖今年になって急に、ボケた写真が増えてきました。カメラが古いから仕方ないと思いつつながら、ブロック大会で写真を撮るうちに原因が判明。なんと筋力の低下でカメラを支えきれずに微妙な手ブレを起こしていたのです。今年一番の地味なショックでした。(中野 記)



❖いよいよ暑い夏、全国高校野球選手権大会の地区予選が各地で繰り広げられています。代表校が集まる甲子園大会ももちろん楽しみですが、それよりも各県の地区予選大会が好きです。今年は早々に宮城や埼玉で有力校が姿を消して、いつになく緊迫した予選となっています。どんな代表校が揃うのか、とても楽しみです。(小松 記)



❖2、3か月咳が続くことがある。原因は不摂生？あるいはPM2.5？ある情報番組で「唾を30秒間で何回飲めますか？高齢の方でも6回以上が理想です…云々」。んっ、自分は？なんと2回のていたらく。就寝中の誤嚥が原因!?知らぬ間に老化は進むということを再確認したオチ。(五十嵐 記)



❖金沢市の「中央公園」が「いしかわ四高記念公園」と改称された。四高は旧制高等学校の雄として全国高専柔道大会を大正3年の第1回から7連覇した。高専柔道は立ち技から直接寝技に引き込むことが認められ優勢勝ちが無いなど講道館とはルールが異なる。ちなみに三角締めは高専柔道から生まれた技術を講道館が採用した技である。大正10年の大会では準決勝で六高と引き分けた五高が決勝戦で不戦優勝した。六高は前年東京遠征にて警視庁に5人残し(25人の勝ち抜き戦)で勝利していた強豪だった。(橋本 記)



*続きは次号をお楽しみに。

❖柔道を習うとき、最初に教わるのは受け身。受け身はケガをしないための練習、敗ける練習、そして恥をかく練習。負けて恥をかくことが人間をより一層強くし、大きく成長させる一番の近道であると嘉納治五郎先生は言いたかつたのかもしれませんが。敗けを素直に認められる人間にこそ、明るい未来が見えてくるでしょう。(太田 記)



❖土屋先生の特別講演で「人間の目は節穴だ、つね日ごろから注意していないと大事なものを見落としてしまう」というお話がありました。絵を見ながら一緒に考えてみましょう。なんの絵に見えますか？カエルに見えますが…。左に傾けて見てください、実は馬の絵です。(木藤 記)



❖上嶋先生、相撲道八段位おめでとうございませう。そこで大相撲からの話題をひとつ。最近相撲界でも宇瑠虎太郎、嵐望(ランボー)、右肩上りといったキラキラ四股名が増えているそうで、行司も大変です。かつてトンガ王国出身「南ノ島」の四股名が思い出せず、「トンガ〜」と勝ち名乗りを上げた行事もいたとか。普通の名前なんですけどね。(唐木 記)



ビバ・シティ 第8号 (平成26年8月20日発行)

■発行所／公益社団法人石川県柔道整復師会
石川県金沢市広岡2丁目3-26
TEL076-233-2122(代) FAX076-233-2196
E-mail ishiju@spacelan.ne.jp

■発行者／木山 時雨

■編集者／佐藤 裕之・錦川 孝彦・中野 秀人・小松 英夫・橋本 大衛・太田 信幸・木藤 正幸・唐木 均・五十嵐 久智



撮影 加賀支部 佐藤 裕之会員
使用カメラ:Nikon D5300
使用レンズ:TAMRON DiII 18-270mm
撮影データ:絞りf/8 露出-1.7
ISO100 焦点60mm

[志賀町風力発電 福浦発電所]

抜けるような青空の下で、国内最大級の直径92メートルの羽根を持つ風車9基がゆったりとまわる。1基あたりの出力も2400キロワットと国内最大で、年間発電電力量は約4100万キロワット時に達し一般家庭約1.1万世帯分の使用電力を賄えるという。送電線を地中に埋設して森林保護に努めたほか、猛禽類の繁殖期を考慮して工事を進めるなど、環境についてもクリーンエネルギーにふさわしい配慮がされている。



公益社団法人 石川県柔道整復師会

石川県金沢市広岡2丁目3-26

TEL076-233-2122(代) FAX076-233-2196

E-mail ishiju@spacelan.ne.jp